

## 水道施設への被害が最小となるよう対策を進めています

- 水道管の更新・新設の際は、地震が起きても外れにくい構造の耐震管を使用
- 災害時の防災拠点などにつながる水道管は、優先的に耐震管に入れ替え
- 主要3浄水場（古国府、えのくま、横尾）間をつなぐ緊急時連絡管を整備

※1「基幹管路」：浄水場から配水池までの送水管や大きい配水管（口径400mm以上）など

※2「耐震適合率」：耐震管と、地盤の固さを考慮すれば耐震性能があると評価できる水道管が占める割合

基幹管路<sup>※1</sup>の耐震適合率<sup>※2</sup>

令和5年度

71.3%

目標

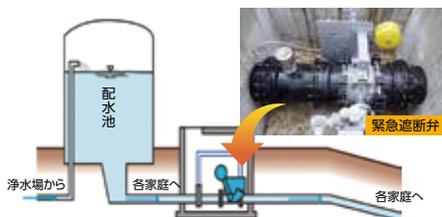
令和30年度

100%

## 地震で水道管が破損しても飲料水を確保できるように取り組んでいます

### 1 配水池（7カ所）

震度5強以上の地震動を感知すると自動で緊急遮断弁が作動し、配水を停止させ流出を防ぐことで、水を確保します。



### 2 飲料水兼用耐震性貯水槽（2カ所）

通常時は水道管の一部として使用しており、地震で漏水等が発生すると、水圧の低下を感知して緊急遮断弁が作動し、内部に水を確保します。



（市が平和市民公園、大分いこの道広場に設置）

1+2+3 =

48,900m<sup>3</sup><sup>※</sup>

市民約1週間分の飲料水を確保します

※473,101人（大分市行政人口・令和6年3月末時点）、1～3日目：1人1日3リットル、4～7日目：1人1日20リットルとして計算（厚生労働省「水道の耐震化計画等策定指針」より）。通常時の平均給水量は1人1日約250リットル。

### 3 浄水場内の使用可能な水量

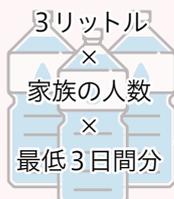
浄水池（浄水場内に出来上がった水道水をためておく場所）に常に確保されています。

問 水道整備課 ☎538-2405

## 災害に備えて水を備蓄しましょう

万一、災害で断水になった際は、上下水道局では全力で復旧に努めますが、被災状況によっては復旧に時間がかかることがあります。

#### 飲料水



#### 生活用水

お風呂の水は抜かず、トイレなどの生活用水として準備しておくことも効果的です。

#### 応急給水

断水が発生したときは、給水車などで応急給水を行います。また、状況に応じて市指定避難所などで水を配ります。家族で確認しておきましょう。



指定避難所一覧



使いながら備蓄するローリングストックもおすすめだよ！



問 上下水道局 総務課 ☎538-2403